

武蔵野会の

仲間 さがし

RECRUIT 2025



ここちよい関わりを求めて

仕事がうまくいかないとき、こんなことを考える。

目の前の相手は、なにを「ここちよい」と感じるのだろう。

言葉、身ぶり手ぶり、表情から、それを感じ取る。

試行錯誤が始まり、自分の行動が変化することで、

相手も少しずつ変わり始め、

ふたりの関わりが、ここちよいものになっていく。

これって、日々の支援だけじゃない。面接や採用もそうだ。

あなたに、私たちの法人のことを知ってもらいたいと思う。

けれど、やっぱりその前に、

あなたのことを知りたい、という思いから始めたい。

きつとそこから、「ここちよい関わり」を考える時間が生まれていく。

2023年に「仲間さがし」を掲げてから、

みなさんと語り合う時間が増えました。

対話はお互いを理解することにつながり、

意識のズレやミスマッチが減りました。

気づくと、本当に仲間が増えていました。

あなたとの対話が、あなたの存在が、

私たち法人のあり方をも、変えていたんです。

人は、だれかと語り合い、共に時間を過ごすことで自分を知る。

そして、自分を知ることが行動の変化を促し、

それが相手にも影響を与え、互いの「ここちよさ」の源泉となる。

私たちはそう信じて、今年も「仲間さがし」を続けます。

職員も、地域の人たちも、今はまだ出会っていないあなたも。

みんなと一緒に、「ここちよい関わり」を探しに出かけませんか？

その先に、ここちよい社会や、ここちよい地域が、

少しずつ見つかっていくと思うから。



社会福祉法人武蔵野会

武蔵野会の

仲間
さがし

RECRUIT 2025



2023年3月に開催した「ふくしデザインゼミ展」の会場風景

福祉とデザイン

福祉という字も、祉という字も、「幸せ」を意味する。つまり福祉とは、だれかの「幸せ」を支える仕事だ。だけれども、生きにくさや困難を抱えている時代。自分らしく、幸せに生きたいと、みんなが思う。福祉に関係のない人なんて、いないはずだ。

けれど、福祉の現場で働いていると、ときどきこう思う。福祉は、なんらかの困難や障害のある人だけに向けられた一方的なサービスになってしまっているのではないか。そうしてしまっているのは、

福祉に関わる私たちのほうかもしれないと。

困難のある人たちに対する「福祉」だけでなく、ひらかれた「ふくし」を実現したい。

立場や領域を超えて出会い、学び合う場をつくることで、福祉は、みんなに関係のある「ふくし」へとひらかれるはずだ。そんな思いをもって、地域での活動をおこなってきました。

福祉を「ふくし」にひらく。

その鍵は、デザインにあると私たちは考えています。複雑な問題を交通整理し、新しい出会いをつくり、そこにある価値を、だれかにわかりやすく伝えてくれる、そんな力が、デザインにはあると思うのです。

デザインの担い手たちと協働して、ふくしデザインゼミを開講しているのも、そんな思いから。福祉を「ふくし」にひらいていくために。まだ見ぬあなたが、仲間になってくれるように。私たちは、福祉とデザインのふさわしい関係を、これからも探し求めていきます。



社会福祉法人武蔵野会

離島で働きたいあなた、

大注目！



東京からジェット船で2時間。伊豆大島にも3つの拠点を運営しているのでも「離島勤務」の夢も叶います。サーフィンやフッシングなどのレジャーも楽しみながら仕事を続けたい。そんなあなたにもぴったりの環境です。実際にマリンスポーツを趣味にもつ先輩たちがたくさん仕事をしています。自分だけのワークライフバランス。大島で模索してみませんか？

大島で働く遅番スタッフの、ある1日

10:00～ 朝は思い切りサーフィンしたり、カフェでまったりしたり。
12:30～ 出勤。みなさんでお昼ご飯を食べ、入浴や午後の活動に入ります。
15:30～ 利用者さんと余暇活動。制作もよし、歌うもよし、散歩もよし。
～20:50 みんなで夕食。就寝の準備と引き継ぎを終えたら、退勤！
※介護や、高暮らしの経験がなくても大丈夫！ ばっちりサポートします！

やむにやまれぬ
思いから

目の前に苦しんでいる人がいるのに見て見ぬふりはできない。初代理事長の保田義男が、戦後の飢えや貧困に苦しむ子どもたちのため、自給自足の生活を送ることができるようにと、八丈島に「武蔵農園・武蔵寮」を開設したのが事業の始まりです。人間が本来持っている、他者の悲しみや苦しみに寄り添い、共感しようとする力。それが武蔵野会の原動力です。

さまざまな職場に、
広がる選択肢



東京都八王子市／小平市／世田谷区
葛飾区／練馬区／千代田区／文京区

静岡県御殿場市

大島町

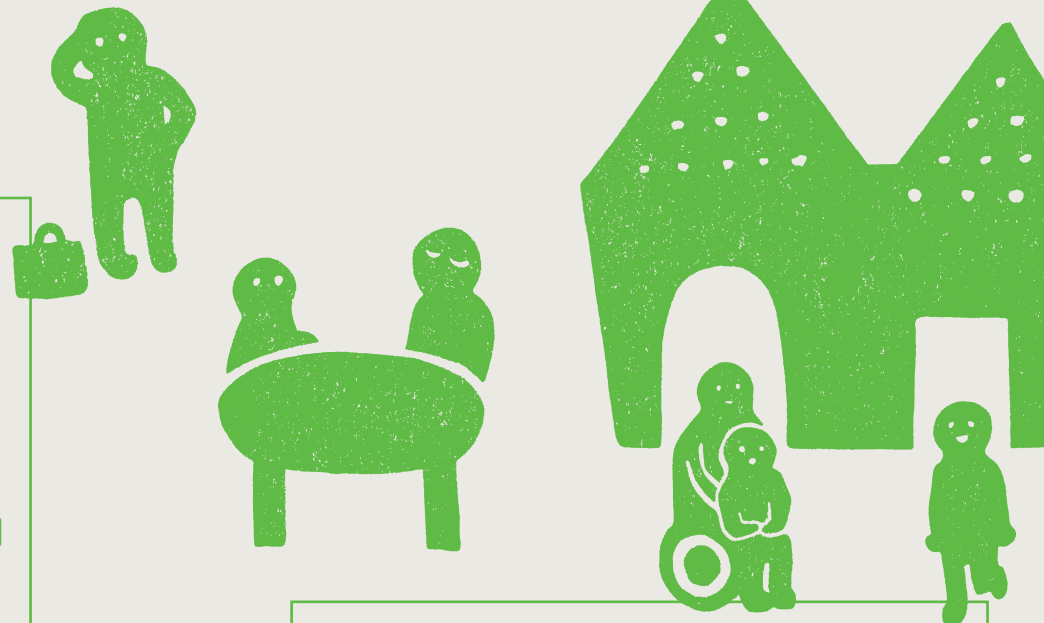
武蔵野会の施設

障害者通所施設…21箇所
障害者／入所施設／
グループホーム…16箇所
児童／障害児施設…11箇所
高齢者施設…4箇所

武蔵野会は、東京都と静岡県を中心に26の拠点、100を超える事業をおこなっています。職種もキャリアも地域も、そして利用者もさまざま。「今の自分」の状況に合わせて、あるいは「将来の自分」を視野に入れながら、一箇所に長くとどまるもよし、多事業を経験するもよし。さまざまな職場に、未来の選択肢が広がっています。

武蔵野会解体新書

福祉の「外」へ
手足をのばして



2022年より、ソーシャルワーカーズラボと協働で、デザインを通じて福祉の未来を構想する「ふくしデザインゼミ」を始めました。多様な人たちが福祉について考え、体験し、実践していく場で、「福祉」は「ふくし」へとひらかれる。そんな思いをもってさまざまな活動をしています。興味のある方は、ぜひご参加ください。

自分らしく
ステップアップ

リーダーや管理職を目指す人
のための「職層別研修」、常に理念
念頭において支援ができるよう
にする「理念研修」、理事長や幹
職員もフラットに語り合う「ダ
アログ研修」など豊富な研修を
けられます。日本福祉大学と提
して入職後の国家資格取得も
底サポート！自分らしくキャ
アを積み重ねていきましょう。

ある職員のキャリアアップの実例 [入社10年目・35歳]

【1年目】実際の業務を通じて知識や技術を身につける「OJT」で基本的な現場の業務を学ぶ。

【2年目～】現場で利用者を支援しながら係や委員会に所属。グループのサプリーダーとしてマネジメントを学ぶ。介護福祉士も取得！

【6年目～】べつての生活介護事業へ異動。組織の土台をつくる経験を積む。

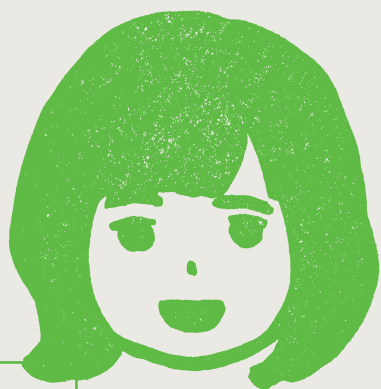
【9年目～】グループリーダーとして、組織内のマネジメントだけでなく外部との連携にも関わる。精神保健福祉士取得！

※現場→組織マネジメント→外部との連携、というように、関わる対象も部署も変化していきます。もちろん、現場の仕事一筋、という選択もあり。

長く、
自分らしく
働いて欲しい
から



自分らしく勤めて、どういうことだろう。それは、長く働いてみてこそ見えるものかもしれません。だから、あなたができるだけ長く武蔵野会で力を発揮できる環境をつくりたい。そんな思いを、給与や福利厚生など条件面にも反映させています。



菅 春菜より
採用担当

私たちは、2023年度より、採用活動を「仲間さがし」と定義して、さまざまな取り組みをおこなってまいりました。学生時代の実績や成績表だけで「採る／採らない」を決めることはしません。「いま、ここ」にいるあなたを知りたい、あなたと会って、「一緒に時間を過ごしたい。すべてはそこから。」を私たちは今年度も「仲間さがし」を続けます。採用サイトも新しくなりました。ぜひ遊びにきてください！

